

全道研究大会 実践・研究発表を開催しました

2018年11月10日（土）北星学園大学にて、北海道地域福祉学会全道研究大会「地域共生社会の実現に向けた多様な地域福祉実践」をテーマに開催されました。当日の参加者は講師・実践自由研究発表含め45名となり盛大に開催されました。

□実践・自由研究発表一覧（敬称略）

＜実践発表：計2件＞

- 1) 福祉的コミュニティデザインの実践から見る“地域共生社会”の先の『共生』について（熊谷友和：Design:L、小笠原達郎：グループホームひなた園）
- 2) 高齢者基本情報の「データベース」化とその効果－胆振東部地震における保健福祉課の初動－（高松一哉、何夢夢、山中康裕：北海道大学大学院博士課程）

＜研究発表：計6件＞

- 1) 地域志向教育におけるリフレクションの設計と試作－COC事業：ふくし・マイスター養成の取り組みから－（佐藤大介：日本福祉大学）
- 2) 地方精神保健福祉審議会における当事者委員の参画－当事者委員への聞き取り調査から－（松本真由美：日本医療大学）
- 3) 宅老所の経営分析（大原昌明、杉岡直人、畠山明子：北星学園大学）
- 4) 宅老所の歴史的経緯と今（畠山明子、杉岡直人、大原昌明：北星学園大学）
- 5) 宅老所と地域共生社会の共生概念の問題（杉岡直人、畠山明子、大原昌明：北星学園大学）
- 6) 高齢者自身による地域共生社会の可能性についての考察～デンマークの高齢者の活動をとおして～（錢本隆行：日本医療大学認知症研究所）

□特別報告

北海道胆振東部地震における支援活動の実際
篠原 辰二（北海道地域福祉学会理事・一社ウェルビーデザイン理事長）

□基調講演

『地域共生社会の実現に向けた多様な地域福祉実践のあり方を考える』をテーマに、飯島 恵子 氏（ゆいの里代表、コミュニティケアマネジャー：栃木県那須塩原市）より講演を頂きました。

□シンポジウム

シンポジウムは『地域共生社会の実現に向けた多様な地域福祉実践』をテーマに北海道内の実践者からの事例報告・話題提供を受ける場としました。

＜シンポジスト＞

- ・まちづくりを担うために必要なこと－江別市商店街の取り組み 武市 寿人 氏（NPO法人みのりの丘代表）
- ・地域課題解決の螺旋的つながりの輪の形成－旭川おとな食堂の実践から 今井 一貴 氏（NPO法人ワークスコープ北海道事業本部道北エリアマネージャー）
- ・居場所づくりから福祉サービス拠点構築へ 下川原清美 氏（NPO法人さっぽろ福祉支援ネットあいなび理事長）

＜コメンテーター＞

飯島 恵子 氏（NPO法人ゆいの里代表、コミュニティケアマネジャー）

＜コーディネーター＞

隼田 尚彦（北海道地域福祉学会副会長：北海道情報大学）
杉岡 直人（北海道地域福祉学会 理事：北星学園大学）

本大会では、地域福祉の推進を目指すコミュニティワーカーの役割や機能、更には求められる専門性を問い直すという趣旨の下、各領域で展開されている実践と課題について議論を深めることができました。多くの皆様のご参加に感謝をいたします。



□第2回定例研究会の開催について

医療法人稲生会 生涯医療クリニックさっぽろ事務長
(社会福祉士) 高波 千代子 氏を講師に「医療ニーズの
高い重症心身障がい児者の地域生活支援の実践について」
をテーマに第2回定例研究会を開催いたします。
本学会では「地域共生社会の実現に向けた多様な地域
福祉実践のあり方を考える」を年間テーマに掲げてお
ります。第2回定例研究会では重症心身障がい児者の
地域生活支援の実践について学びます。

日 時：2019年2月17日(日) 14時00分～

場 所：北星学園大学 C館 第5会議室

参加費：学生(院生除く)：無料、会員：500円、
非会員：1,000円(当日受付で頂きます)

お申込：参加申込書にて2月12日(火)までに、F
AX、メールフォーム、Eメールでお申し込み
ください。申込書はウェブサイトからダウ
ンロードできます。

□第1回北海道地域福祉学会優秀実践賞団体決定のお知らせ

このたび第1回北海道地域福祉学会優秀実践賞団体が
決定しましたのでお知らせします。本事業は、北海道内
の地域福祉に関する優秀な実践を顕彰し地域福祉にか
かわる優れた実践を掘り起こすとともに北海道の地域
福祉の一層の発展と向上に寄与することを目的に実施
するものです。表彰式は2019年2月17日(日)の
第2回定例研究会時に執り行います。受賞詳細は本会
ホームページをご覧ください。

法人名：社会福祉法人さつき会(法人設立1974年)

住 所：北海道上川郡鷹栖町9線4-5

理事長：木津 真庭 氏

常務理事：波瀾 幸敏 氏

□北海道地域福祉研究第22巻の投稿募集

北海道地域福祉学会誌「北海道地域福祉研究2018年
第22巻」の投稿を募集します。投稿を希望(エントリ
ー)される方は、**2018年12月20日(木)まで**
に「投稿者氏名、所属、タイトル、投稿種類、会員番号、
電話番号、E-mail」の情報を添えて事務局まで、ホーム
ページ内のメールフォームにてお知らせください。

尚、期日までに投稿エントリーをされた方は、編集投
稿規程・執筆要領をもとに**2019年2月28日(木)**
まで【当日消印有効】に事務局宛まで論文を送付下さ
いますようお願いいたします。詳しくは募集要項並びに
本会ホームページをご覧ください。本巻より投稿エン
トリー期間ならびに投稿〆切を早めております。

▶事務局より

☑会員状況(2018年11月9日まで)

【新規入会(敬称略)】

木下一雄(名寄市立大学)、角田広佑(しろいし社会福
祉士事務所)、喜納悠介(白老町社会福祉協議会)、高志
博明(特定非営利活動法人LandP)、佐藤良彦(㈱生涯
活躍のまちかみしほろ)、鈴木出(留萌市社会福祉協
議会)、高松一哉(鶴居村役場)、越前谷賢一(美唄市社
会福祉協議会)、本間章哲(札幌医学技術福祉歯科専門
学校) 現会員数：122名

☑業務委託や講師等の派遣調整を行います

本学会では、学会役員及び会員の研究活動を社会還元
するため、各種の業務委託や講師派遣等を実施してい
ます。事務局において調整やご相談に応じております
ので、各方面への周知協力並びに事業へのご協力をお
願いたします。

☑学会費の納入をお願いします

学会規約に基づき会費は年額5,000円、会費を2年
以上滞納した会員は理事会にて退会したとみなすこと
ができること定められておりますが、より多くの会員の
皆様と共に北海道の地域福祉研究を推進するため、会
費の納入にご協力をお願いいたします。ご連絡がない
状態が続きますと退会となり、再び会員登録を行う際
には未納分の納入をご依頼することとなりますので、
ご注意願います。

☑会員情報の変更をご連絡ください

勤務先や所属先、役職等、会員情報登録に変更があつた
場合は、事務局にご連絡をお願いいたします。会員情報
の変更用紙は学会ホームページよりダウンロードが可
能です。

☑2018年度学会行事予定

第2回定例研究会 2019年2月17日(日)

場 所：北星学園大学 C館 第5会議室

□事務局(事務局員：篠原・佐藤・畠山)

〒004-0022 札幌市厚別区厚別南2丁目7-28

一般社団法人 Wellbe Design 内

TEL：011-801-7450

FAX：011-801-7451

Eメール：info@hacd.jp

URL：http://www.hacd.jp

URL

